

低コスト稲作農法について

昨年10月アメリカの水稲直播栽培をみて来た。その感想をのべると、直播栽培面積は約100万ha、様式はカリフォルニアの湛水直播、その他が大体乾田直播である。生産量はha当り粃で平均5.6t/ha、カリフォルニアで8.2t/haであった。日本と同じかやや高かった。総生産量は約600万トン、生産の40%は国内消費、60%が輸出である。米価は平均24\$/60kg、カリフォルニアのKoruharoseは40\$/60kgで、それでもわが国の1/3程度であった。栽培はすべて大型の機械化農業であり、経営規模も3,000～8,000haと大型であった。

次に栽培法の概要を述べると、まず驚いたのは、カリフォルニアの湛水直播の大部分の作業が乾田状態で行なわれていることである。耕耘～整地～施肥～均平～播種溝など、特に均平作業にレーザー・ビームが使用され、これが均平に重大な極め手になっていたことである。それに灌水の水は8,020円/haと有料であったことである。

レーザー・ビームのコストは110\$/haとのことであった。労働生産性は国府田農場の例で1.7人/haで、日本の50人/haにくらべ、労働生産性が高いことである。用いる品種は直播用品種で、低温発芽、苗立ちが高く、耐倒伏性も高く、しかも短稈(約75cm前後)、分ケツ数も3～4本、着粒数も90～130粒であった。わが国の移植用品種とは異なっている。施肥はカリフォルニアは窒素、その他は窒素と磷酸を下層施肥である。輪作形態はカリフォルニアは稲～稲、その他は稲～大豆～大豆などが行なわれている。その他雑草防除(ノ

目次 (第20巻第11号)

低コスト稲作農法について

巻頭言	1
＜財団法人 日本植物調節剤研究協会 専務理事 吉沢長人＞	
ブドウのハウス栽培における生育調節剤の利用	2
＜大阪府農林技術センター 奥田義二＞	
昭和60年度冬作(麦作・いぐさ・水稲刈跡)関係除草剤試験成績概要	9
昭和61年度夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績概要	14
昭和61年度畑作関係除草剤試験成績概要	39
昭和61年度水稲・畑作関係生育調節剤試験成績概要	46
＜財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部＞	

ビエ、タマガヤツリ)に除草剤(モリネート、チオベンカーブ、プロバニル)の散布が行なわれ、その他は行なわれない。

このようにアメリカその他先進諸国は低コスト稲作農業として、直播栽培にかわってしまった。それがわが国は移植水稲栽培が行なわれている。わが国でも直播栽培に向く、関東以西に今少し積極的に水稲直播栽培を推進する必要があると思われる。それに品種改良事業も、2～3の場所を直播栽培用にし、積極的に直播栽培に取り組んで行くことが、低コスト稲作農法成功の秘訣でないかと思う。

[財団法人 日本植物調節剤研究協会 専務理事 吉沢長人]